

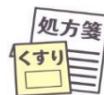
腹膜透析カテーテル挿入術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

主治医

説明看護師

月日	/	/	/	/	/			
経過	入院日	手術前日	手術当日 前	手術当日 後	術後1日目	術後2日目	退院日	術後3日目
目標	手術を受ける準備ができる。		血圧や脈拍などに異常がない。術後の安静を守ることができる。	発熱がなく出口部と創部に異常がない。痛みがコントロールされて動くことができる。			退院後の注意点がわかる。	
処置	お臍をきれいにします。肺塞栓予防のために着用するストッキングのサイズを測ります。	朝6~7時に浣腸をします。弾性ストッキングをはきます。メガネ、入れ歯、貴金属類ははずします。看護師と一緒に手術室へ行きます。	酸素吸入をします。適宜、血圧、脈拍、体温を測ります。心電図モニターを装着します。腹膜透析カテーテルが留置されています。	呼吸が安定していれば酸素吸入は終了です。 体重測定（朝）				
点滴			手術室で点滴をします。	朝食が食べられたら点滴は終了です。				
お薬	お薬とお薬手帳を持参してください。下剤を21時に内服します。	朝、指示されたものだけ内服します。		抗生剤の内服が始まります。持参薬の内服については医師から指示があります。（※中止のままの場合もあります）痛みが強く我慢できない時は痛み止めの内服があります。			退院処方がある場合はお渡しします。 	
検査			血糖値の測定、インスリン注射を行う場合があります。	採血 レントゲン 				
食事	夕食まで食事がとれます。以降は何も食べないでください。水、お茶は飲んでかまいません。	食べることはできません。朝、術前飲料水がです。11時まで飲むことができます。 	食事や水分をとることはできません。うがいはできますので、看護師にお知らせください。 	朝から水分と食事がとれます。				
安静度	制限はありません。 		手術後はベッド上で安静に過ごします。起き上がることはできません。体の向きの調整などは看護師にお知らせください。	術後の経過が問題なければ、歩行できます。初回は看護師が付き添います。	制限はありません。術後の合併症予防と回復をすすめるために、たくさん歩くようにしましょう。			
排泄	蓄尿をします。	排便があったか確認します。	手術中に尿の管が入ります。便意を催した場合はベッド上で便器を使用します。	尿の管を抜きます。退院まで蓄尿を続けてください。 				
清潔	シャワー浴			温かいタオルで体をふきます。歩行して問題なければ、弾性ストッキングを脱ぎます。			医師の許可が出たら、シャワー浴ができます。	
説明指導	看護師から必要物品、入院生活のこと、手術後の経過について説明します。		手術後、主治医からご家族に手術経過の説明があります。  痛みや吐き気などの症状がある場合は、我慢せずに看護師にお知らせください。					
その他	同意書類を確認します。外来で手術同意書を記入していない場合は、入院後に医師から説明があります。	ご家族の方は手術予定の1時間前に病棟へお越しください。貴重品等をご家族に渡してください。	手術後はご家族の付添は必要ありません。	通常通りの面会時間にお越しください。	入院費の概算が必要な方は、退院前日16時までにお申し出ください。		午前中に退院です。退院の書類を受け取ってから手続きとなります。	



退院後に腹痛や38℃以上の発熱、創部が赤く腫れる等の症状がある場合は、外来へ電話でご連絡の上ご相談ください。